

南魚沼・生涯活躍のまちづくりCCRC構想 C:まちづくり部門提案

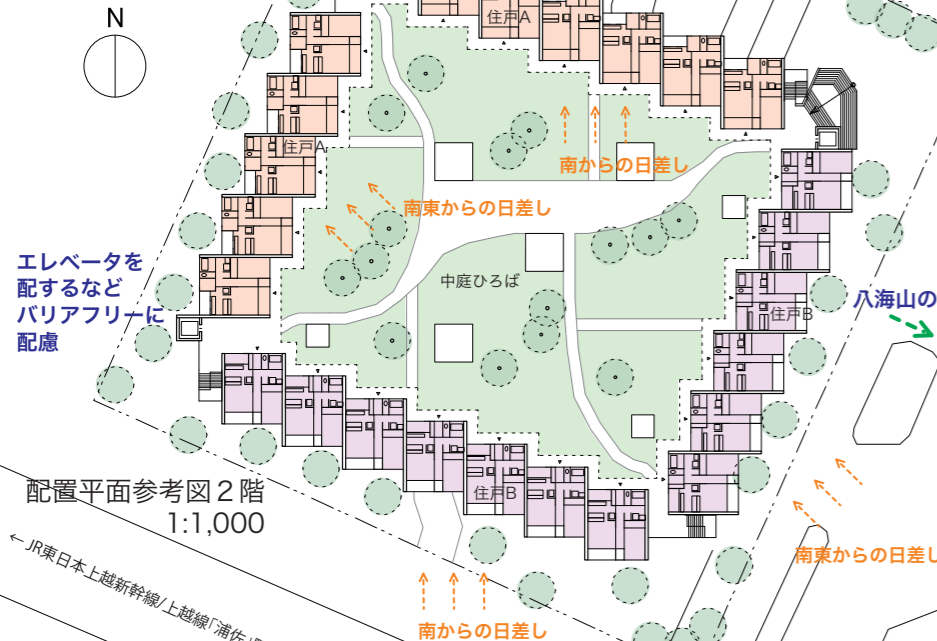
大きな中心のある場所に集まって暮らす

大都市圏から移住するシニア世代を対象とするにあたり、出会いや結びつきの中心となる「ひろば」を人工地盤の上につくります。この落ち着いた環境の周囲に集まって暮らすことにより、共に生活を育んでいく意識が醸成されます。

豊かな自然の中にシンプルに暮らす

夫婦二世帯がゆっくり暮らせる70㎡ほどの広さのシンプルな住宅を50戸計画します。2階と3階に配置された住戸からは、緑豊かな「ひろば」の眺めが広がり、周囲の八海山などの山並み、隣接する公園や田畑の緑を楽しむことができます。

周囲への眺望が開き
日当たりの良い住戸



エレベータを
配するなど
バリアフリーに
配慮

配置平面参考図2階
1:1,000

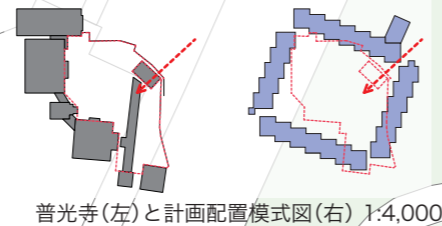
← JR東日本上越新幹線/上越線「浦佐」駅

交流の中心となる「ひろば」

住民の交流の中心となるひろばは、外部からも自由に入れ、子どもたちが安全に遊べる大きな中庭です。近所の子どもたちだけでなく、東京から訪ねて来たお孫さんたちも安心して広々と遊ぶことができます。

地域の空間資産を継承する

浦佐の毘沙門さん・普光寺の境内へと登り、お堂に囲まれた落ち着いた空間が広がる様子は、大事な地域の空間資産です。中庭ひろばは、そのアプローチを参照し、境内と同程度の広がりを持つ落ち着いた空間となっています。



都会における生活の質を継続する

中庭ひろばの下には、各住戸それぞれに蔵(外部収納)が用意され、駐車場や駐輪場があります。冬期の積雪時にもスムーズな利用が可能です。また、北東側の角にある事務センターにはコンシェルジュをおき、健康医療、社会参加、就職などの様々な相談を受け付けます。隣接して計画される予定の地域交流施設との連携も検討します。

下階には、
駐車場・駐輪場や
各住戸の蔵(外部収納)
を配置

雪室利用の冷熱冷房
融水と雨水は中水利用

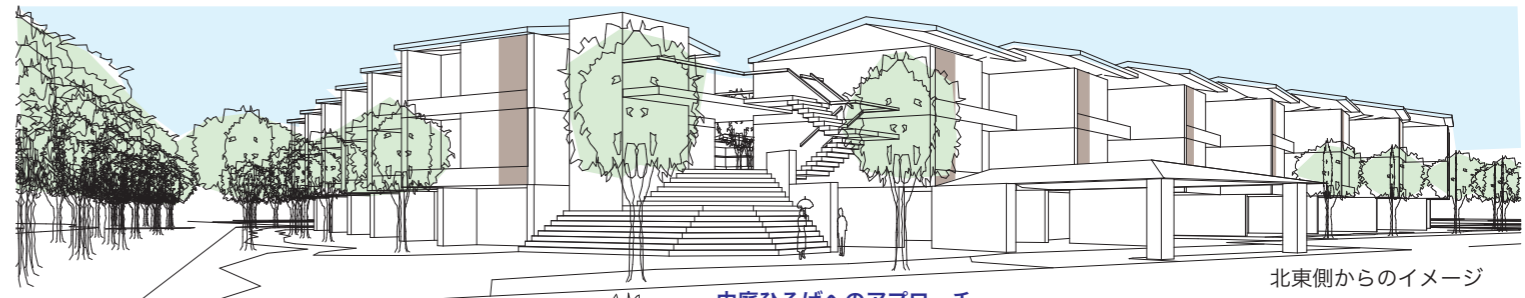
北東の公園側の
メインエントランス
出入口

配置平面参考図1階
1:1,000

雪室

冷熱冷房

融水と雨水は中水利用



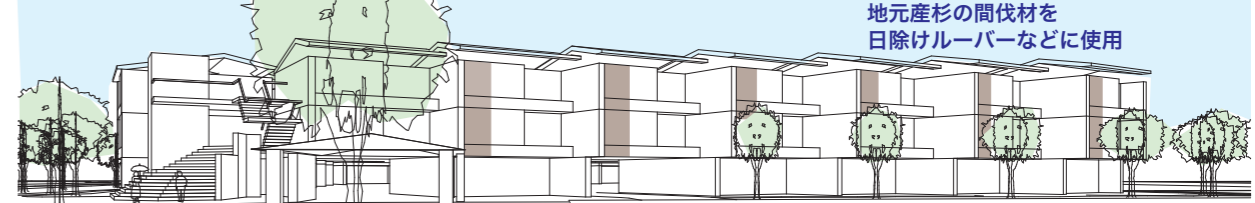
中庭ひろばへのアプローチ

北東側からのイメージ



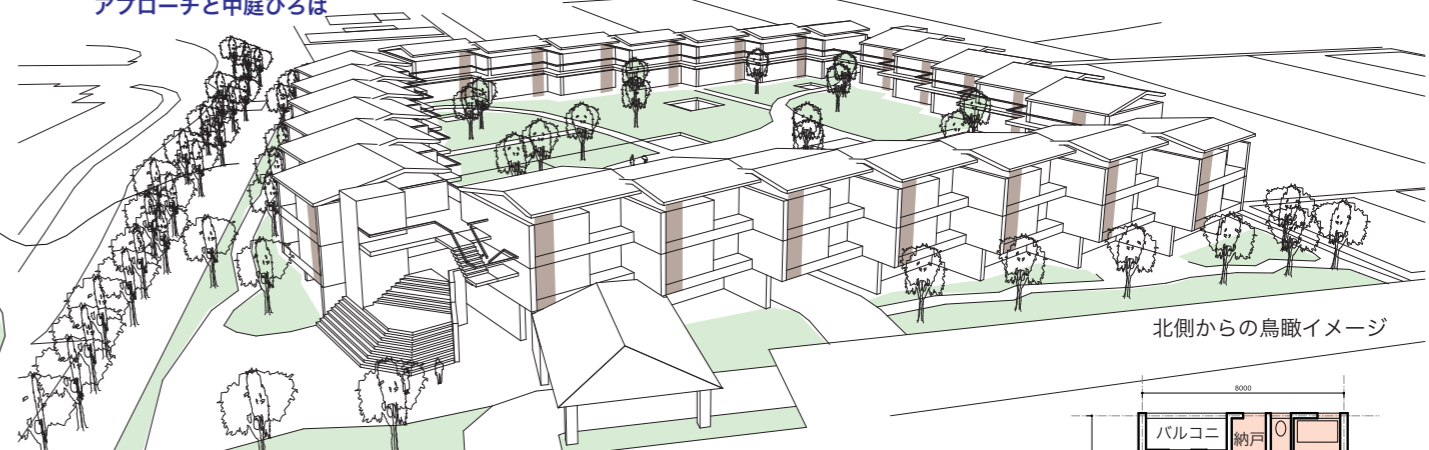
普光寺山門

浦佐の毘沙門天さんの
空間イメージを継承する
アプローチと中庭ひろば



地元産杉の間伐材を
日除けルーバーなどに使用

北側からのイメージ



東側の公園へ連続する
中庭ひろばの緑地

北側からの鳥瞰イメージ

地域の自然環境資産を活かす

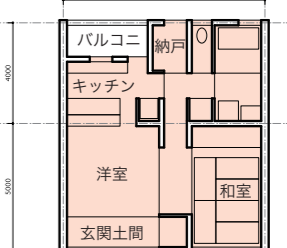
1階の中庭ひろばの下に500トンの雪室を設け、夏場の冷房に用います。雪室に隣接して共用の冷蔵庫を設け、各住戸での使用や、地酒、米、そばなどを入れ、ひろばでのイベントなどに活用します。

パッシブで省エネルギーな暮らし

勾配屋根に太陽光発電パネルの設置を検討します。また、雪冷熱(雪室)を利用した冷房、その融水や雨水を中水利用として、敷地内の散水やトイレに活用します。屋根と壁はしっかりと断熱し、夏の日差しを避ける日除けルーバーを間伐材で作ります。

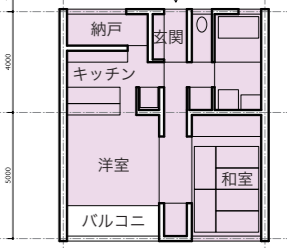
地域の資材を活用する

戸別に薪やペレットのストーブを設置し、地元の間伐材を利用します。燃料(間伐材)の購入や維持管理は全体でまとめて行うことも可能です。日除けルーバーや手すりなどに地元の間伐材を使用し、木材の手触り感を活かします。



住戸A:南入りタイプ↑

住戸B:北入りタイプ↓



住戸平面参考図1:300



断面参考図1:300